

事 務 連 絡

平成30年6月15日

町民の皆様 へ

日之影町長 佐 藤 貢

(公 印 省 略)

日之影町役場新庁舎の建設に向けて(報告)

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じ上げます。また、普段より本町行政に対し、ご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

現日之影町役場庁舎については、その存在が町づくりに与えた影響は大きく、公共交通や経済活動、人々の往来など、中央地区の商店街とともに歴史を刻んできたところudur。庁舎の建て替えに際しては、若い世代に日之影町を託していくうえで、現在から将来に向けての社会情勢の変動、町民アンケート等における意見を総合的に判断し、町民に開かれた誰もが利用しやすい庁舎、町民サービスの向上が図られ効率的な行政運営ができる庁舎として、さらには、本町の防災拠点施設として、その機能を十分に発揮できる場所に新築しなければならないと考えます。

日之影町新庁舎建設委員会からいただいた意見書や町民アンケート等を総合的に考慮いたしますと、今後の日之影町の中核となる「新庁舎」については、宮水地区に移転が望ましいと判断いたしました。

また、町民センターの老朽化、耐震性の確保、図書館機能の不備などを解決するため、総合的な施設整備・改修について「総合文化施設検討委員会」を設置しご検討いただいておりますが、日之影町新庁舎建設委員会からの意見書の中にもありましたが、庁舎と文化施設の複合施設として、現町民センター及び福祉館を解体し、その跡地に「新庁舎」を建設することが、最も望ましいものとの結論に至りました。

日之影町新庁舎を「複合施設」として新築したいと考えます。

現在の町民センターへのアクセス道については、一部狭あいなところもありますので、新しいアクセス道の整備も含め取り組んでいきたいと考えます。

日之影町新庁舎建設委員会の意見書やアンケートの意見にもありましたが、中央地区の今後の活性化につきましては、(仮称)中央地区活性化協議会を設置し取り組んで参ります。

また、岩井川・分城・山附地区からのアクセスについての課題につきましては、大きな目標をもって、取り組んでいきたいと考えております。

日之影町の次世代へのスタートとして、新庁舎等の建設に取り組んで参る所存でございますので、今後とも、町民の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。